



 三好不動産

三好不動産

CSR
 Corporate Social Responsibility
Report
 2020



 三好不動産

【免許・登録番号・加入団体】宅地建物取引業者免許 登録番号 国土交通大臣(3)第7912号／賃貸住宅管理業者 登録番号 国土交通大臣(2)第0000008号／第二種金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第35号／金融商品仲介業者 福岡財務支局長(金仲)第43号／(一社)九州不動産公正取引協議会 加入／(公社)福岡県宅地建物取引業協会 加入

発行人／株式会社三好不動産 代表取締役社長 三好 修 編集・制作／株式会社三好不動産 社長室 広報課 〒810-0054 福岡市中央区今川1-1-1 TEL:092-725-5000(広報)

発行日／2020年7月

CSR Report

社会に貢献する 勤勉企業であるために

三好不動産は、経営理念に定める「社会に貢献する勤勉企業」の精神を実現していくため、経済的責任だけでなく、事業活動において社会や環境への責任を果たす努力をしております。社員一人ひとりが、コンプライアンスと経営理念に沿って行動し、さまざまな活動を通じて地域に寄り添い、貢献できる企業であり続けたいと思っています。

※CSR:Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)

三好不動産は6つの目標達成に向けて積極的に取り組むことを宣言します。

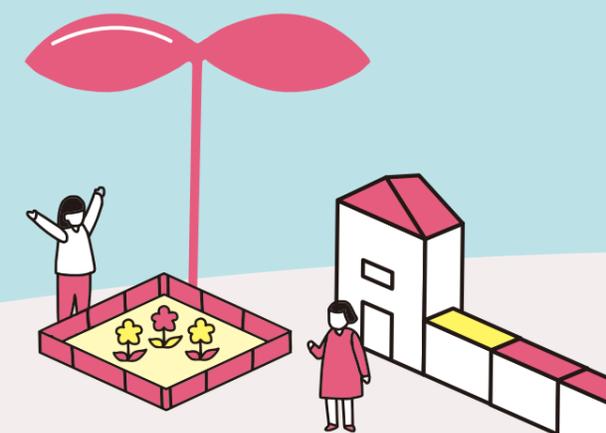
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	8 働きがいも経済成長も
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナーシップで目標を達成しよう

社会貢献活動

地域社会とともに

地域に根ざした社会貢献活動を通して積極的に地域との共生に努め、よりよい社会づくりに取り組んでまいります。



被災地支援

私たちが福岡からできること

大地震等の自然災害や、甚大な被害をもたらす危機があった場合において、被災地の実態に応じた支援を継続的に行ってまいります。



誰もが生活しやすい

社会環境への取り組み

地域や社会の一員としての、少子高齢化社会への対応、障がい者雇用の促進、次世代の育成、国際社会への取り組みなど、誰もが生活しやすい社会環境作りに取り組んでまいります。



働きやすい

職場環境へ

職場環境づくりも社会的責任の一つであるものと考えています。従業員一人ひとりが生き生きと働き続けられるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みも推進しています。



社会貢献活動 地域社会とともに

3 車いす送迎車の寄贈(2004年～)

この活動は、西日本新聞社が2002年から始めた「車いす送迎車を贈ろう！キャンペーン」に当社が賛同し、2004年より車いす送迎車の寄贈を行っています。これまで西日本新聞民生事業団を通じて、20台の車いす送迎車を寄贈しました。



車いす送迎車の前にて



寄贈の様子(2017年)

11 福岡市動物園の動物サポーターとして支援(2014年～)

2014年7月より、福岡市動物園の動物サポーターとして支援を行っています。福岡市に住む子どもたちに人気のスポットである福岡市動物園の支援を通じて、動物に親しむ場として身近に感じていただくためのお手伝いを長期に渡って応援してまいります。



動物のエサ代50万円を寄贈



園内のテントを寄贈



はな子の運動場の土を耕す耕うん機を寄贈



特製の「ごはん箱」を寄贈

当社ロゴのゾウマークのご縁もあり、一番の人気者だったはな子(アジアゾウ)を応援してまいりました。そのはな子が、2017年9月に天国へ旅立ちました。はな子の愛くるしい姿は、温かな思い出として私たちの心の中にずっと残っていくことでしょう。「はな子 ありがとう」

矢野孝介メモリアル

4 CMCポップイ三好小学校を建立(2017年) (カンボジアバタンバン州)

2017年11月、当社とグループ会社のニッポンインシュア(株)は「一般社団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン(CMC)」主導のもと、カンボジアバタンバン州の郊外ポップイ村に、「CMCポップイ三好小学校」を建設しました。これは、三好不動産グループが、約10年前から協力している「カンボジア地雷撤去キャンペーン」の一環で、地雷原跡地の老朽化した小学校の建て替え事業に全面協力したものです。

2018年より、現地視察およびグローバルな視野を広めるためにCMCが主催するスタディツアーに当社社員とグループ会社社員が参加しています。2019年には子どもたちが心豊かに、のびのびと学べる環境となる様、校庭にブランコやシーソー、鉄棒を寄贈しました。本小学校は、ニッポンインシュア(株)の前社長で、三好不動産グループ全体の発展に寄与した、故矢野孝介氏のメモリアルとして建立しました。社会貢献活動にも積極的に取り組んでいた故人の意志を尊重し、その業績の一部を今回の小学校設立資金として全額支援しました。小学校の門柱には「KOSUKE YANO MEMORIAL」と刻まれており末永く子ども達を見守り続けることでしょう。



「MIYOSHI」とネームの入った制服



お礼の唄を披露する児童たち



中央は州副知事

2017年11月3日竣工記念式典が行われました



竣工記念式典に関係者らが出席、盛大な歓迎を受けました。式典には、州の副知事や、教育長、地元公職の来賓も多数参加、副知事より当社代表をはじめ功労者に対し「国家建設功労第一勲章」の授与がありました。



CMCポップイ三好小学校



シーソーを寄贈



ブランコを寄贈



鉄棒を寄贈



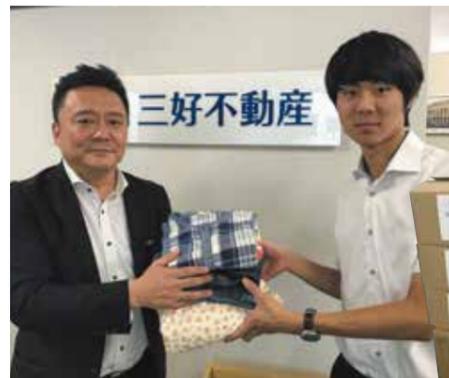
現地の子供達とスタディツアーに参加した社員の集合写真

社会貢献活動 地域社会とともに



10 古着を寄付する支援 「フィリピンの子供たちに服を贈るプロジェクト」(2019年～)

当社は2019年より、NPO法人国際教育推進協議会が立ち上げた「フィリピンの子供たちに服を贈るプロジェクト」に賛同しています。これは企業×NPO×教育機関の共同プロジェクトで、衣類を必要とするフィリピンの子供たちに、不要になった子供服を贈るリユース活動です。厳しい環境に置かれた子供たちにとってはとても喜ばれます。当社はこれからも積極的に支援を続けていきます。



11 子ども食堂「サンsun♪」を開設(2017年) (熊本県合志市)

熊本県合志市で介護事業を展開しているグループ会社の(株)サンコーライフサポートは、同社が運営するサービス付き高齢者向け住宅「スリースマイル秋桜」(熊本県合志市)内に、2017年4月より子ども食堂「サンsun♪」を開設しました。地域の子どもたちに、バランスのとれた食事を提供するのはもちろん、スリースマイル秋桜の入居者の方やデイサービスの利用者など、普段ふれあう機会の少ない多世代の方々との交流の場も提供しています。加えて、地域の人たちのコミュニティスペースとしての役割も果たしています。



子どもたちには、入居者の食事配膳の手伝い、専用畑で食材に使っている野菜収穫やリハビリの手伝いなど、職場体験を通して働くことで「人の役に立つことの大切さ」、「食事をいただけることの喜び」を感じてもらえればと思います。また、親御様には、時には家事の手を休めて欲しいという想いもあり、親子連れやお友達同士で気軽に利用できる食堂として、地域の皆様の「居場所」になることを目指していきます。



子ども食堂とは

近年、共働きやひとり親の家庭が増え、一人で食事をしている子どもや、少ない食費でファーストフードやお菓子などを食事にする貧困の子どもの増加が問題になっています。一般的に「子ども食堂」は、そのような状況下にある子どもや親を助けたいとの想いで始まったとされています。こうした問題の解決、そして地域社会を構築する一つの手段として、全国的に広がっている取り組みです。

12 国公立大受験生へ九州大学前学生寮の貸室を無償宿泊提供(2017年～)

2017年2月25、26日、国公立大学前期試験が行われたこの日、福岡市内で開催された大きなコンサートや、国家試験日と重なり市内を中心に宿泊施設が確保できない受験生が続出しているという報道がありました。当社はこの状況を知り、受験生とその保護者に限定し、当社所有・運営をしている学生マンション「九州大学前学生寮」の貸室24室を無償提供させていただきました。ホテルのようにとまではいかないものの、受験生の皆さんにこれまで頑張ってきたことを発揮して頂きたいという想いで、可能な限り支援させていただきました。2018年も同様に10室を、2019年は6室の貸室を支援させていただきました。現在、ホテル不足の問題は解消されつつありますが、当社は引き続き学生応援プロジェクトの一環として受験生の皆さんの支援を続けていきます。



入寮生である現役の九大生たちは、普段、食堂など共用スペースでは会話も多く賑やかな雰囲気ですが、試験日前日から当日は誰からともなく気を配り、仲間が集まるのは控えたそうです。このように現役九大生の先輩たちも、自身の受験の時を思い出して、そっと見守ることでバックアップしてくれていました。九州大学前学生寮



13 「ヒルトン福岡シーホーク・クリスマス・トレイン」に協賛(2012年～)

ヒルトン福岡シーホークホテル4階ロビー内に総面積84㎡に及ぶ壮大なヨーロッパの冬景色の街をジオラマで表現され飾られています。ジオラマには山や村、駅、気球、橋などをあしらわれており、その街の中を約40両の貨車を連ねたクリスマストレインが走行。協賛金は、福岡市早良区にある児童養護施設「福岡子供の家」に寄付されています。



学生寮を利用した受験生の親御様より温かいメッセージをいただきました

2020年2月

何から何まで快適で、お部屋もとても清潔で良かったです。
下宿も窓から見ると綺麗で、前日、部屋の電灯もほかにありました。

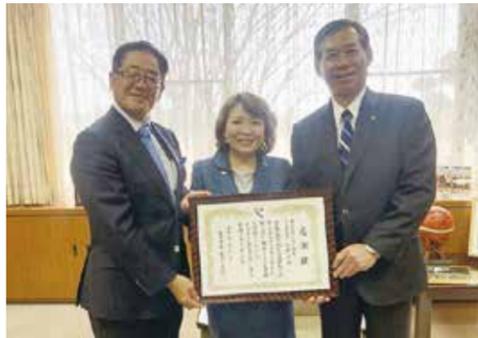
こんなに無償宿泊、併せて朝食の全額提供等あり、本当にありがとうございます。
心より御礼感謝申し上げます。本業での博多駅近辺に打つてくれる早朝移動
するところ、徒歩数分の試験会場に、行く事になりました。部屋にはメッセージ
お礼、マスクやカバンに、御社の御厚意に添って感謝申し上げます。院長と及ぶ御厚
意、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

社会貢献活動 地域社会とともに



合志市企業型ふるさと納税に支援(2018年～)

当社は熊本県合志市が実施する地方創生プロジェクトに賛同、2018年より企業版ふるさと納税を行っており、この度、合志市荒木義行市長より直接感謝状を頂きました。企業型ふるさと納税とは、正式名称を「地方創生応援税制」といい、自治体を実施する「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」に企業が寄附をすることをいいます。当社のグループ会社で、高齢者支援事業、企業主導型保育園、障がい者雇用、生活困窮者支援事業など福祉事業を行う株式会社サンコーライフサポートが熊本県合志市を拠点としており、そのご縁もあって、企業版ふるさと納税というかたちで賛同させていただきました。当日は、三好修社長、三好京子専務が合志市にて感謝状を受け取りました。



熊本県合志市との連携協定調印式(2020年6月)

2020年6月11日、熊本県合志市志と当社との連携協定調印式が熊本県合志市役所内にて執り行われました。これは、高齢者、障がい者、子育て世帯等の多様な世帯が安心して健康に暮らすことができる住環境を実現することに関する事項で、当社が、合志市と連携、協力するものです。合志市は「健康都市こうし」を掲げ、この連携協定をきっかけに、行政、民間、市民が連携をし「合志モデル」という独自のネットワークモデルづくりを目指しているそうです。



地域花火大会翌日の清掃活動

地域の花火大会翌日の清掃活動に参加しています。(西日本大濠花火大会～2018年)、周船寺花火大会、東区花火大会など。



本社周辺の花壇の植え替え・清掃活動

当社本社がある唐人町の花壇の植え替えと手入れ、及び清掃活動を定期的に行っています。



野菜マルシェを開催(2017年～)

地元福岡の農家さんを応援したいという想いから、三井郡大刀洗町、八女郡広川町、福津市役場と連携し、採れたてのお野菜を天神一等地の天神サロン内で定期的に直接販売する野菜マルシェを開催しています。またグループ会社の(株)ビルドヒューマニーはJA筑紫と連携し、事務所前で定期的に野菜マルシェを開催しています。産地直送だからこそ新鮮で美味しく、スーパーであまり見ないような珍しい野菜もお得に買えるということで、毎回たくさんの地域の皆さまにご来場頂いています。

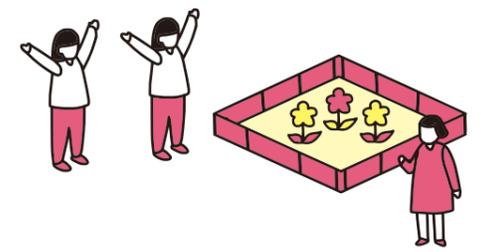


一般財団法人100万人のクラシックライブに協力し、天神サロンクラシックコンサートを開催(2018年～)

当社は2018年より、天神サロン内で定期的にクラシックコンサートを開催しています。これは、活動の場が限られがちな才能あふれる若手演奏家による小さな演奏会を開催し、全国各地で年間100万人にクラシックライブを届けようという活動に協力しているものです。普段着で気軽に聴けるクラシックということで、お子様からご年配の方まで、毎回多くの方が参加されています。



社会貢献活動 地域社会とともに



11 地元当仁校区の馬頭観音夏祭りや餅つき大会の参加

地域で行われる様々な行事に積極的に参加しています。お祭りや餅つき大会など、地域の皆さんと親睦を深めながら取り組んでいます。



11 安心・安全なまちづくりのための防犯パトロールに参加

「中央区犯罪の起きにくい街づくり総合対策(NCC(No!Crime in Chuou))」に参加し、地区・福岡県警と連携し防犯パトロールや犯罪インフラ確認などを行っています。また「福岡中部法人会」に参加、大濠支部として防犯パトロール活動等を行っています。2020年1月からは「見守り隊」の活動を開始しました。「見守り隊」とは、NCCの活動の1つで毎週金曜日の朝7:45~8:15に行っており、小学生など子どもたちが安全に登校できる様、挨拶、声かけ、交通指導を行う活動です。



11 「こども&レディス110番の店」活動に参加

犯罪に遭遇したこどもや女性が逃げ込める「こども&レディス110番の店」活動に、スマイルプラザの各店舗が協力しています。



3 献血の協力

病気やケガなどで、血液を必要とする多くの方々を支援するため、献血に協力しています。毎年、多くの社員が協力しています。

3 AEDの設置

AED(自動体外式除細動器)を設置し、社員やお客様の万が一に備えています。また、福岡市のAEDマップを開示し、近隣の皆さまにも情報を公開しています。



11 赤い羽根共同募金に協力

社会福祉法人福岡県共同募金会を通じて、毎年寄付金をお送りしています。



3 福岡市より「地域のまち・絆づくり応援企業」として表彰されました(2016年)

2016年に福岡市より「地域のまち・絆づくり応援企業」として表彰されました。これは、福岡市内の自治協議会の推薦によるもので、当社が取り組む右記の地域活動です。

- 当社ソフトボールチームによる当仁校区地域リーグ出場、当仁校区夏祭りの運営、当仁校区餅つき大会の運営
- 地域小・中学校のトイレ清掃貢献(~2016年)
- 西日本大濠花火大会翌朝の清掃活動(~2018年)



4 九州大学の寄附型クラウドファンディングに支援(2019年)

2019年9月、九州大学が立ち上げた寄附型クラウドファンディングに当社が支援を行いました。このプロジェクトは九州大学出身で、世界的に著名なサイエンスアーティスト河口洋一郎氏の作品を、伊都キャンパス内に"世界初"常設展示するという内容です。常設展示を行うためには、美術品の輸送や長期の展示に耐える特殊な展示に関する環境整備が必要となり、その資金を補うためにプロジェクトが発足されました。最先端の芸術作品を展示することで若い学生たちの感性と知性が刺激を受け、豊かな未来創造へ繋がることを期待して立ち上げられたこのプロジェクトに当社も賛同し、今回支援させていただきました。



寄附金寄附者御名			
寄附者名	1000 円	1000 円	1000 円
寄附者名	5000 円	5000 円	5000 円
寄附者名	10000 円	10000 円	10000 円
寄附者名	50000 円	50000 円	50000 円
寄附者名	100000 円	100000 円	100000 円
寄附者名	500000 円	500000 円	500000 円
寄附者名	1000000 円	1000000 円	1000000 円
寄附者名	5000000 円	5000000 円	5000000 円
寄附者名	10000000 円	10000000 円	10000000 円
寄附者名	50000000 円	50000000 円	50000000 円
寄附者名	100000000 円	100000000 円	100000000 円
寄附者名	500000000 円	500000000 円	500000000 円
寄附者名	1000000000 円	1000000000 円	1000000000 円

展示作品:「Ficco」

社会貢献活動 地域社会とともに



「タオル帽子を贈ろうキャンペーン」へ支援(2016年～)

2016年より西日本新聞エリアセンター連合会が、抗がん剤治療の副作用で脱毛したがん患者を応援しようと、タオル帽子を作る個人やグループを支援する活動を始め、当社が2018年よりそれに賛同しています。第一回目となる寄贈式が3月15日に行われ目録をお贈りしました。このキャンペーンは、西日本新聞エリアセンター連合会が福岡県内のボランティア団体にタオルと助成金を支給しているもので、これまで、九州各地の約30の病院や施設に約1,200個のタオル帽子を贈っています。



タオル帽子贈呈式が行われました

2018年7月10日、タオル帽子の贈呈式が九州大学病院内で行われました。贈呈式では、製作を担当した「すみれ会」の代表者より36個のタオル帽子が九州大学病院 乳腺外科の久保真医師に手渡されました。今後も当社はこの活動に積極的に取り組んでまいります。



製作者からのメッセージも添えられています



山笠の各流れに奉納酒を寄贈(2010年～)

博多3大祭りのひとつで櫛田神社への奉納神事である「博多祇園山笠」。当社は、この伝統的な祭りに対し創立60周年記念事業のひとつとして、2010年より奉納酒を贈る活動を続けています。西、千代、恵比須、土居、大黒、東、中洲の各7つの流れと、博多祇園山笠振興会本部の8カ所に持参。奉納する酒は、「益々繁盛」と呼ばれる2升5合入りの巨大な瓶で、一升瓶が2つと反升の「升升半升」(益々繁盛)と縁起を担いだお酒です。祭りが安全・盛大に行われること、今後も末永く伝統が続いていけるようにとの願いを込めて奉納させていただいています。



福岡伝統の屋台を支援(2020年4月～)

2020年4月7日に発令された緊急事態宣言を受け、福岡の伝統である屋台は営業自粛を余儀なくされ、この日を境にその灯りが消えてしまいました。そんな中、4月20日に福岡市移動飲食業組合の店主らが解除後の再開・継続を目指し、その活動資金を募るクラウドファンディング「SAVE THE YATAI」プロジェクトを立ち上げました。当社はこの取り組みに共感し、同プロジェクトを通じて支援をしました。その後、組合の方と情報交換をしながら他にも何かお役に立てないかを検討し、「福岡屋台37軒で使える食事券」を作成し支援。内容は、1,000円の食事券を約1,000枚発行し、福岡市移動飲食業組合へ寄付する支援です。この食事券を通じて福岡屋台へ足を運んでもらい、その良き文化を守ることや街づくりに繋がることを願い、皆さまと共に応援してまいります。



三好不動産オリジナルの福岡屋台37軒で使えるお食事券 (発行:福岡市移動飲食業組合)



天神サロンにて打合せ風景



【オリジナルTシャツを寄贈】
食事券と同様のデザインを施した福岡市移動飲食業組合と三好不動産のコラボTシャツを屋台37軒の従業員の皆さまへ寄贈しました。

「YELL FUKUOKA行動宣言」に賛同(2020年4月)

福岡の将来像を描き地域の成長戦略をリードする福岡地域戦略推進協議会213団体による「YELL FUKUOKA/エール・フクオカ行動宣言」に当社は賛同しました。産学官民で構成するシンク＆ドゥタンクである福岡地域戦略推進協議会(FDC/福岡市中央区 事務局長石丸修平)は、会員である213団体とともに2020年4月17日に「YELL FUKUOKA/エール・フクオカ行動宣言」を実施、当社はこれに賛同し取り組みを開始しています。YELLFUKUOKA/エール・フクオカは、「Afterコロナ」の世界が真に豊かであるために新しい価値を創造し、輝かしい未来に向けて前進する人々を応援するプロジェクトです。当社も参画している本会員団体がそれぞれのアイデアやソリューションを駆使し、新たな社会・経済のあり方を考え実践し、一丸となって「withコロナ」時代を克服する取り組みです。



【 <https://yellfukuoka.com> 】

社会貢献活動 地域社会とともに

飲食店応援プロジェクトを実施(2020年5月)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域のにぎわいや交流を支えてきた多くの飲食店は営業制限を強いられていました。そこで、何か力になれないかと思い、地元のお店を利用して応援をする「飲食店応援プロジェクト」を実施しました。これは、当社従業員が、対象飲食店での弁当一括注文(社内でとりまとめ)、飲食店でのテイクアウト(または店内飲食)をした場合、会社より1回につき500円の補助金を福利厚生の一環として支給し、月に8回まで利用可能としたものです。このような状況下だからこそ、1人1人が意識を持って多くのお店を利用することで、飲食店を応援することに少しでも繋がれば幸いです。



NPO法人いるかにマスクを寄贈(2020年5月)

2020年5月、三好不動産グループの社員からの寄付によるマスク約200枚、洗えるマスク500枚、フェースシールドをNPO法人いるかに寄贈しました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、医療現場だけではなく、学童保育施設や介護施設でもいまだにマスク不足と言われています。こうしたなか、小学校や学童保育施設に通う子どもたちはマスクが足りず、キッチンペーパーで作ったマスクを付けて登校している子どもたちもいると知り、今回の寄付に至りました。マスクはNPO法人いるかを通じて、学童保育施設などを中心に子どもたちに配布されました。当社は今後も継続してマスクの寄付を行ってまいります。



小学校・中学校に消毒用アルコールを寄贈(2020年6月)

新型コロナウイルスの感染症予防のためのアルコール消毒液が全国的に不足している現状を知り、当社とご縁のある当仁小学校、梅林中学校、那珂中学校に消毒用アルコールを寄贈しました。生徒さんはじめ、先生方、皆さまが安心して学校生活が進めるよう、当社は今後も支援を継続してまいります。



【6月8日】「夢授業」の講師として招いて頂いた梅林中学校へ消毒用アルコールを寄贈



【6月9日】NCC会員との繋がりや交通安全の見守り隊でご縁がある当仁小学校へ消毒用アルコールを寄贈



【6月10日】「生き方学習」の講師として招いて頂いた那珂中学校へ消毒用アルコールを寄贈

被災地支援 私たちが福岡からできること



平成24年九州北部豪雨の復興支援



福岡県豪雨災害義援金をお送りしました。(2012年9月)

東日本大震災の復興支援



震災直後の支援物資送付(2011年3月)

震災直後の2011年3月14日、被災地に支援物資を届けました。毛布100枚、紙おむつ約350箱、水のペットボトル600ケースなど、当時現地で手に入りにくかったものを中心にお送りしました。さらに、関東在住のオーナー様にお米や乾電池、水など、不足している日用品をお送りしました。

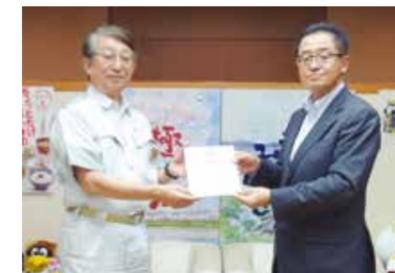


被災地3県(福島・宮城・岩手)に義捐金を寄附(2011年8月)

当社社長の三好修がオーナー様をはじめ、各方面でお預かりした義捐金の目録を、福島県、宮城県、岩手県を訪問し、各県の知事へお届けしました。



福島県訪問



宮城県訪問



岩手県訪問



「公益財団法人みちのく未来基金」へ寄附(2013年～)

私たちが福岡からできることを改めて考えた時、より具体的な支援をと考え、「真に復興の礎となるのはこれから育つ次世代の若者たちである」というみちのく未来基金の趣旨に賛同し、支援をしています。みちのく未来基金は、東日本大震災において被災し、両親またはどちらかの親を亡くした子どもたちの就学の夢を支える奨学金基金で、入学金・授業料を全額支援、震災時に0歳だった子どもが大学院を卒業する頃までの少なくとも25年間は基金を継続(返済は不要)するというものです。子どもたちが夢や希望を実現する為に必要な教育を受けることは復興の光となり未来につながると信じています。



みちのく未来基金事務所訪問



「第8期生のついで」奨学生と企業サポーターとの集合写真

被災地支援 私たちが福岡からできること

平成28年熊本地震の復興支援

「熊本文化財復興支援金」へ寄附 (2015年12月)

熊本地震により熊本城が大きな被害を被りました。熊本城は、築城400年余の歴史をもつ重要な文化財であり、熊本の象徴といえるものです。この貴重な文化財の復旧・復興に役立てていただきたく、寄附させていただきました。



提供:熊本城総合事務所
「五階屋根の取り外し前(熊本市役所14階より2018.1.19撮影)」

被害に遭われた被災者の方々に住居を支援(2016年4月)

被害状況を踏まえ、熊本地震の被害に遭われた被災者の方々に、福岡都市圏及び近郊において、当社が管理している空室物件を短期的に無償提供をする住居支援を行いました。

震災直後の支援物資送付(2016年4月)

熊本県及び、大分県に在住のオーナー様へ、ペットボトルの水や缶詰め、レトルトカレーなどの食料品や、マスク、軍手、ウエットティッシュ、紙皿などの日用品をお届けしました。



西日本豪雨災害ボランティア

2018年8月、全国賃貸住宅経営者協会連合会会員の岡山県の不動産会社へ行き、みなし仮設賃貸借契約など、契約手続き事務を現地で作業を行いました。

西日本豪雨災害支援物資を発送(2018年7月)

この度の西日本豪雨災害で被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申し上げます。西日本を中心に発生した大雨災害を受け、特に被害の大きかったオーナー様へわずかではありますが、飲料水や保存食などの支援物資を送らせていただきました。今後も被災された皆さまからの希望をお聞きし、現地で必要なもの等支援してまいります。被災地の皆様のご無事と一日も早い復興をお祈り申し上げます。



募金活動

スマイルプラザGOGOハイク

創立55周年記念行事の一環で始めたGOGOハイクは、2019年で14回目を迎えました。東日本大震災の年をきっかけにチャリティーとして開催、参加費の一部と募金箱に寄せていただいた義捐金とを合わせ、東日本大震災や熊本地震の復興に役立てていただこうと寄附しています。今では1,000名を超える行事にまで成長しました。



GOGOハイク開会式の様子

募金活動の様子

オーナーチャリティーゴルフコンペ

チャリティーゴルフコンペを開催し、参加いただいたオーナーの皆様の善意を「みちのく未来基金」へ届けています。



チャリティーゴルフコンペ参加者の集合写真

誰もが生活しやすい社会環境への取り組み

高齢化社会への対応

特定非営利活動法人 介護賃貸住宅NPOセンター設立(2001年2月)

2001年2月に特定非営利活動法人(NPO法人)「介護賃貸住宅NPOセンター」を設立。保証人の問題や万が一の滞納保証など様々な条件が満たされず、部屋探しができない高齢者の方々に住居の斡旋を積極的に行っています。身寄りが無い・高齢などの理由で一般の賃貸住宅などに入居できない方を対象に、空室で悩む賃貸住宅オーナーとの間にたち入居を支援しています。当センターが生活をサポートすることを条件にオーナーから部屋を提供して頂いています。



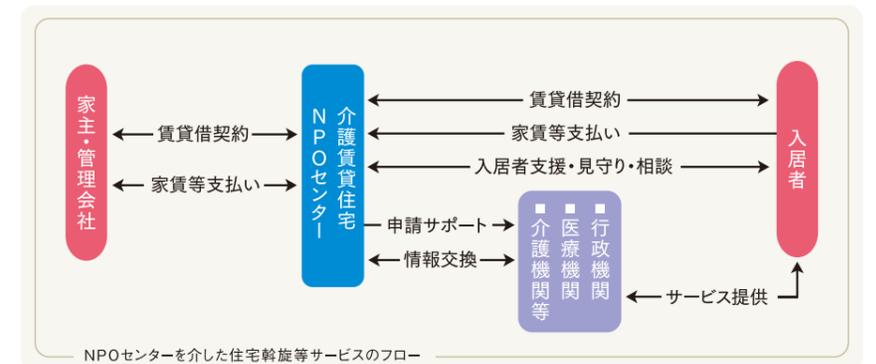
NPOセンターの前で利用者の方々と



公共施設にも置かれているパンフレット

Memo

NPOセンターでは乳製品を定期的に配達、届ける際に声掛けをし安否確認をしています。これは入居後の見守りサポートの一環です。



住宅確保要配慮者への対応

福岡県指定居住支援法人の登録(2018年10月)

2017年10月25日に施行された住宅セーフティネット法の改正に伴い、住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅として登録された住宅(セーフティネット住宅)の入居者への家賃債務保証、住宅に係る情報提供・相談、生活相談・支援などを行う法人を、都道府県が指定することができるようになりました。福岡県においても、住宅確保要配慮者の居住の安定確保を図るため、居住支援法人の指定を行っており、当社は2018年10月に、介護賃貸住宅NPOセンターは2019年9月に居住支援法人に認定されました。今後も福岡県居住支援協議会と情報共有などの連携に努め、住宅セーフティネットの充実を図ってまいります。

誰もが生活しやすい 社会環境への取り組み



少子化社会への対応

企業主導型保育園 「ぞうさんのはな保育園」開園(2018年9月)

当社グループ会社初となる企業主導型保育園「ぞうさんのはな保育園」を2018年9月熊本県合志市に開園しました。「働くお父さん、お母さんが安心して預けられる園」を保育理念に掲げ、最大の特徴である「幼老共生」を柱に地域の方々も利用できる「街づくりをする保育園」をめざしてまいります。



「ぞうさんのはな保育園」ならではの取り組み

【幼老共生】

図書室は地域の方にも開放。コミュニティスペースは高齢者をはじめ地域の人と園児たちが交流できる場に。このように幼老共生を保育に取り入れる保育園は合志市では珍しいということです。

【子どもたちが食事作りや準備に関わる】

近隣で運営するサ高住「スリースマイル秋桜」にある農園を食育の場として活用。野菜の栽培・収穫・調理の準備などに関わることで、食への興味や意欲が持てること、野菜を育てる楽しさ、自然の恵みに感謝する気持ちを育てます。



【ぞうさんのはな保育園】熊本県合志市須屋81-5

【施設】保育室3室(0、1歳児すみれグループ/2～5歳児コスモスグループ/2～5歳児ひまわりグループ)図書室、事務室、相談室、応接室、医務室、倉庫(2室)、更衣室、厨房、病後児保育室、調乳室、沐浴室【定員】60名(企業枠31名/地域枠29名)【保育園の平米数】床面積571.69㎡/建築面積575.54㎡

子どもの数だけ家賃減額子育て世帯応援企画「キッズ割」(2019年5月～)

子育て世代のご家族を応援する取り組みとして、期間中に賃貸借契約を締結されたご家庭において子どもの数だけ家賃を減額する「キッズ割」を実施しました。「キッズ割」は赤ちゃんがお腹にいる時から中学校卒業まで一緒に応援したいという思いから誕生しました。ファミリー物件の動きがある春から秋にかけてキャンペーンを行い、お子様の数に合わせて家賃から一人当たり1,000円(最大3,000円)を減額するものです。



入居者様応援企画 エール! FUKUOKA 「スマ特2020」(2020年5月)

新型コロナウイルスの緊急対策として、入居者様を応援する企画「スマ特2020」を実施しましたこれは引っ越しをしたくても初期費用が払えず引っ越しができない入居者様などを対象に、管理オーナー様と当社が初期費用を負担する入居支援です。初期費用の一部条件をオーナー様に変更し、当社が一部を負担することで、賃借人様は家財保険料・仲介手数料のみで特別に入居が可能になるものです。

マイホーム購入者様応援企画 エール! FUKUOKA 「三好不動産の感謝割」(2020年5月)

新型コロナウイルスに負けない元気な福岡にしたい。地元福岡の皆様へ快適な住まいを提供したい。こんな時期でも結婚や出産、進学など人生の大切なイベントはあります。マイホーム購入という大切なイベントをお考えの方もいらっしゃると思います。そんな皆様の良きパートナーでありたい、今こそ「ありがとう」を伝えたいとの想いから、「感謝割」を実施しました。期間内に当社の仲介でマイホームを購入すると仲介手数料が30%割引になるものです。

障がい者雇用促進・自立支援

特例子会社「ぞうさんのはな」設立(2013年10月)

三好不動産とグループ会社の(株)サンコーライフサポートは、2013年10月、障がい者雇用を目的とする特例子会社「ぞうさんのはな」を熊本県合志市に設立し、高齢者世帯等を対象にした弁当の調理・宅配事業を行っています。弁当は昼食・夕食分を届け、必ず手渡すため「地域の見守り」としての役割も担っています。本事業は、2013年8月に「合志市まちづくり事業提案制度」の認定を受けました。

特例子会社とは

「障害者の雇用の促進等に関する法律」で定められ、障がい者の雇用に特別に配慮して、企業の中に雇用率制度の特例措置として設立される子会社のことです。この子会社は一定の要件を満たしている場合、その子会社に雇用されている労働者も親会社に雇用されているものとみなされ、親会社の障がい者雇用率に算入されます。



「ぞうさんのはな」開所式

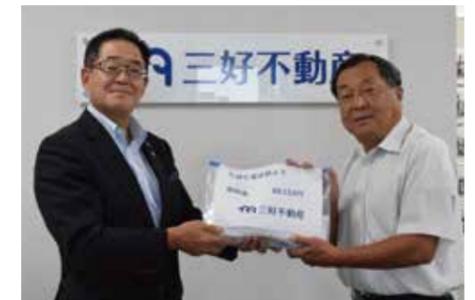


「ぞうさんのはな」のスタッフ 写真提供:熊本日日新聞社

国際社会への取り組み

カンボジア地雷撤去活動への寄付

一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン主催「地雷被害者救済チャリティー野球観戦」に毎年参加、観戦チケット代金の一部を地雷撤去活動及び地雷被害者の支援に役立てていただいています。



CMC代表大谷賢二様へ寄付金をお渡ししました

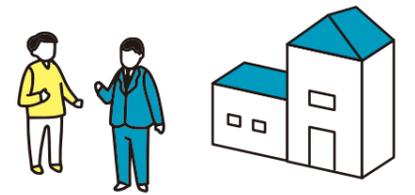
カンボジアの小学校校舎復旧工事への寄付(2020年7月)

2020年7月2日、CMC代表大谷賢二様へカンボジアにある「CMCポップイ三好小学校」の復旧工事の寄付金をお渡ししました。5月初旬に突然の竜巻により校舎の瓦屋根が飛ばされ、大きく穴が開き、看板とポールが折れる等の災害に見舞われました。ちょうど日本と同じように、カンボジアでもコロナ禍で学校が休みだったため、児童に怪我はありませんでしたが、学校の授業を再開するにあたり、校舎の復旧が必要となり、今回の寄付に至りました。募金は当社とグループ会社社員からの寄付によるものです。当社はこれからもCMCポップイ三好小学校の支援活動を継続してまいります。



CMC代表大谷賢二様へ寄付金をお渡ししました

誰もが生活しやすい 社会環境への取り組み



LGBTの「住」に関するあらゆる悩みをサポート

性的マイノリティ(性的少数者)を特別視せずにお部屋探しができる環境を提供(2016年～)

部屋を借りる場合、そもそも二人入居が難しいという現状があります。それは、同性カップルも例外ではありません。一人で部屋を借りて内緒で同棲をする方もいらっしゃいますが、例えば火災などが起こった場合、きちんとした保証が受けられないなどのリスクを負うケースも考えられます。そのようなリスクの回避もさることながら、すべてのお客様に快適な暮らしをご提供したいという想いの中、当社は取り組みを始めました。2016年10月よりスマイルプラザ博多駅前店をLGBT対応店舗としてレインボーのステッカーを掲げたり、SNSでお部屋探しに関するQ&Aなど情報発信をしています。また、各拠点にレインボーフラッグを設置し、社員全員がレインボーバッジを胸元に着用、名刺にレインボーマークを入れるなどしてLGBTフレンドリーであることを表明しています。近年では採用時のエントリーシートの男女欄を廃止したり、2019年に完成した本社別館のトイレは誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの考え方を取り入れるなど、社員の意識を変えるインナーブランディングにも積極的に取り組んでいます。



レインボーバッジをつけ
LGBTフレンドリーであることをしめています



任意団体「Work with Pride」が認定するLGBTに関する企業等の取り組みの評価指標「PRIDE指標2017、2018」において、当社は最高評価である「ゴールド」を、2019年には「シルバー」を受賞しました。



レインボーフラッグ設置の様子



レインボー扉



レインボーシール



レインボーフラッグ

LGBTライフプランセミナーを開催(2019年～)

LGBTのお部屋探しを取り組んでいく中で、「不動産購入に興味があるけどハードルが高い」「賃貸と購入の違いを知りたい」「同性カップルの場合の住宅ローンや相続について知りたい」「住まいに関して将来が不安だけど誰(どこ)に相談していいかわからない」などの声を多く頂くようになりました。こうした声に応えたいと思い2019年11月、LGBTの方のためのライフプランセミナーを福岡市の後援を受け開催しました。第一回は約60名が参加し、不動産購入の相談や、実際に公正証書を結んだ方もいらっしゃいます。2020年4月には第二回目を開催し、その際にはWEBライブ配信型セミナーとして、ただ視聴するだけでなく配信中に質問も受け付ける新たな試みも実施しました。当社は生活基盤となる「住」を扱う不動産業として、今後もだれもが安心して暮らすための情報を提供してまいります。



九州レインボープライドに参加(2016年～)

博多区の冷泉公園で開催された、LGBTなど性的少数者が生きやすい社会を目指す啓発イベント「九州レインボープライド」に当社は2016年より参加しており、2019年はメインスポンサーを務めました。当日は会場にブースを出展し、賃貸、売買、保険、相続など無料相談コーナーを設け、社員130名がパレードに参加しました。パレードでは全員が三好ロゴをレインボーカラーにしたTシャツを着用し、レインボーフラッグを掲げて天神や博多を歩きました。これはアライであることを示すことで、性的少数者を特別視せず寄り添いながら「将来に安心が持てる」一助になればという想いからです。当社はこれからもLGBT当事者の方に寄り添う企業であり続けたいと考えています。



2019年11月4日 九州レインボープライド2019に社員130名でパレードに参加(博多区冷泉公園)



令和元年度 厚生労働省委託事業 「職場におけるダイバーシティ推進事業」に掲載されました(2020年5月)

5月8日、厚生労働省委託事業「職場におけるダイバーシティ推進事業」(委託先:三菱UFJリサーチ&コンサルティング)の「報告書」及び「多様な人材が活躍できる職場環境に関する企業の事例集～性的マイノリティに関する取組事例～」が厚生労働省ホームページにて公表、当社のLGBTの取り組みが紹介されました。

当調査に関しまして、当社はヒアリングに協力しており、下記頁に紹介されています。

- 「多様な人材が活躍できる職場環境に関する企業の事例集～性的マイノリティに関する取組事例～」の本文 [事例16(P26)、事例20(P28)、事例39(P36)]
- 「令和元年度 厚生労働省委託事業 職場におけるダイバーシティ推進事業 報告書」 [参考資料] 企業ヒアリングメモP187～P190

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/0000088194_00001.html

次世代の育成

インターンシップの受け入れ

インターンシップの受け入れは、これからの人生設計を考える学生の方々に、就労体験の場をつくるという社会貢献活動として位置づけています。ここ数年は、外国人留学生の参加も増えています。インターンシップを受け入れることで、職場の活性化といった相乗効果もあり、新しい見識を得る機会となっています。



誰もが生活しやすい 社会環境への取り組み

次世代の育成

京都女子大学 「U・I・Jターン就職懇談会」の参加(2018年)

近年、大都市へ若者が集中し、同時に地方からの流出が問題視され、地域に若者が定着・還流するための取り組みが国全体の政策課題となっています。2018年、当社は福岡県への若者人材の還流を促進するために、「UIJターン就職促進協定」を締結している京都女子大学の「座談会・業界研究会」に参加しました。

中学生の職場体験 学習の受け入れ

中学校や各種団体より要請を受け、子どもたちに仕事に触れる機会を提供することを目的に中学生の職場体験を受け入れています。

福岡アジア留学生里親奨学金事業に参加(2014年～)

福岡県内で学ぶアジア地域からの留学生を支援する事業で、2014年より賛同しています。この奨学金は、留学生の経済的支援だけではなく「顔が見える奨学金」として、里親と留学生の交流促進も目的としています。



産学連携

九州産業大学との連携 (2011年～)

2011年より九州産業大学工学部住居インテリア設計学科の学生とリノベーションに取り組んでいます。学生が室内のデザインを手掛け、実践的な勉強の一環として無報酬で設計を担当しています。これまで10例以上を完工、若い世代の発想で部屋づくりが実現しています。



九州産業大学の学生がデザインしたリノベーション

福岡県警察と福岡県宅地建物取引業協会が締結

「DV・ストーカー被害者等への住宅情報提供に関する協定」に協力(2018年～)

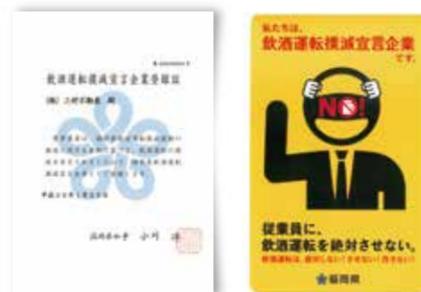
夫婦間や恋人などによるDV(ドメスティック・バイオレンス 家庭内暴力)やストーカー問題は年々事態が深刻化しています。被害者は、加害者との接触を避けるためにホテルや知人宅への一時的な避難を余儀なくされています。そのような状況にいる被害者が警察に相談し、早急な避難を希望する場合、県警が同協会に空き部屋を照会、同協会は居住地や家賃など希望を聞いた上で物件情報を提示します。当社はその物件情報を同協会に提供しています。



飲酒運転撲滅

飲酒運転撲滅宣言に賛同(2018年～)

2018年1月より福岡県が掲げる「飲酒運転撲滅宣言企業」として登録。飲酒運転の撲滅を宣言し、その対策に取り組んでいます。



働きやすい 職場環境へ

行政の取り組みの参画

一般社員対象奨学金返還の負担軽減制度を実施(2017年～)

入社間もない新卒従業員が学生時代に給付を受けた貸与型奨学金の返還義務を遂行できないといった社会問題が表面化しています。当社はそうした現状を打破したいという想いと、「三好不動産の存立基盤は人財にあり」というスローガンに則り、学生時に奨学金の給付を受けていた比較的社歴が浅い社員に対し、返還の負担を軽減する制度を2017年10月より実施しています。

【制度の概要】

- ①支給対象は、新卒で入社し、入社10年未満の総合職社員であること(入社10年になったタイミングで給付終了)
- ②貸与型の奨学金であること
- ③支給金額は毎月の返還額の50%で、2万円が上限

アニバーサリー休暇制度 (2019年～)

2019年より社員の心身のリフレッシュによる活性化および家族への慰労、社員の自己啓発の場の提供を目的として、1年間で2日間の休暇取得をする「アニバーサリー休暇制度」を導入。この制度は特別休暇の付与であり、日常生活および勤務に活力をもって臨むことができるようにすることを目的としています。

※対象は総合職社員、一般職社員、嘱託社員、契約社員、出向者(有期契約社員を除く)。

「#PowerNap ～昼寝で健康チャージ～」を導入(2019年～)

当社は働き方改革の一環として、福岡市が推進する「#PowerNap」プロジェクトを導入しました。睡眠を生活のための大切な「チャージ」と捉え、15～30分程度の昼寝(PowerNap)を推進します。睡眠をとることでパフォーマンスを上げ、業務の効率化、社員の健康促進を図ることを目的としています。

企業主導型保育園との業務連携契約(2018年～)

お子様がいる社員の育児支援として企業主導型保育園との業務連携契約を2018年より進めています。企業主導型保育園とは、提携を結んだ企業の従業員のお子様を優先的に預けることができる保育施設です。今後は、提携が必要であると判断すれば、複数の企業主導型保育園と積極的に契約を締結していきます。

Memo

企業主導型保育園は認可外保育施設に分類されるものですが、近年、英語、絵画造形、バレエ、空手などのレッスンの取り組みや、園庭を備えているなど認可保育園並みの保育内容を取り入れているところも増えています。

子育て応援制度第3子出産は10万円の祝い金を支給(2017年～)

企業として少子化問題に取り組み、出産・育児を支援する「子育て応援制度」は総合職を対象に、第3子出産は10万円の祝い金を支給。



働きやすい 職場環境へ



8 インターバル制度を導入(2019年～)

当社は2019年1月より健康管理の一環としてインターバル制度を導入しました。インターバル制度とは、残業時間を含む終業時間から次の始業時間まで一定時間を空けるよう会社で規制することを言います(「勤務間インターバル規制」ともいう)。勤務終了後、一定時間以上の休息時間を設けることで働く人の生活時間や睡眠時間を確保するものです。これは、ワーク・ライフ・バランスを保ちながら健康に働き続けることができるようになると考えられており、当社はインターバル時間を11時間としています。今後も引き続き従業員一人ひとりが活き活きと働き続けられるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みをすすめてまいります。

8 ストレス・疲労度チェックの実施

当社は毎年1回「心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)」を社員に対し実施しています。個々人のストレスへの気付きを促し、メンタル不調者の発生を未然に防ぎ、各自のストレス値を部署・部門ごとに集計・分析することで、仕事の質と量に見合った人員配置や職場環境の改善、長時間労働などを是正し、働きやすい職場づくりを目指します。

※対象は総合職社員、一般職社員、嘱託社員、契約社員(有期契約社員を除く)。

8 「健康経営優良法人2020」に認定(2020年～)

当社は健康経営の考えに賛同し、従業員の定期健診の実施、オプション検査の費用補助、ストレスチェックの実施、健康をテーマとした情報発信、業務時間の短縮、病氣治療と仕事の両立支援、スポーツサークルの活動支援、予防接種の費用補助、就業時間内の禁煙、職場へ加湿器・除菌剤の設置など、さまざまな取り組みを行っています。これらの取り組みが認められ、2020年3月、経済産業省が選出する「健康経営優良法人2020」に認定されました。

従業員およびその家族のため、お客様および取引先業者様のため、地域社会のためにも、従業員一人ひとりの「心とカラダの健康」を大切に、これからも質の高いサービスをお客様に提供できるよう、健康経営に関する取り組みを継続いたします。



8 育児短時間勤務制度等の拡充(2020年～)

当社は2020年4月より、育児短時間勤務制度などの内容を一部変更し、対象範囲を「中学校1年生の始期に達するまで」に拡充しました。これは、働きやすい職場環境づくりを目指す取り組みの一つで、子育て中の社員の柔軟で安心な働き方の実現を目指しています。

	三好不動産の規定		法律上の規定
	変更前	変更後	
1.短時間勤務制度	4年生の始期に達するまで	中学校1年生の始期に達するまで	3歳未満
2.時間外労働時間			3歳未満
3.子の看護休暇			小学校入学前

8 福岡県「出会い応援団体」に登録(2018年～)

当社は少子化の要因の一つである未婚化・晩婚化に対する取り組みとして、福岡県が実施する「出会い応援団体」に登録。結婚お祝い金の支給を受けることができます。



8 「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」に登録(2020年～)

当社は、社員がやりがいと誇りを持ち、心身ともに健全であることが重要な要素と考え、健康5ヶ条を掲げ社員の健康づくりを推進することを宣言し、これを福岡県の制度「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」に登録しました。健康経営とは「企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できる」との基盤に立って、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することを意味しています。従業員の健康管理者は経営者であり、その指導力の下、健康管理を組織戦略に則って展開することがこれからの企業経営にとってますます重要になっていくものと考えられます。

【三好不動産の健康5ヶ条】

- 第1条 定期健康診断の受診率100%を徹底します。
- 第2条 がん検診などの任意検診の受診を促進します。
- 第3条 朝礼時に全従業員スクワットを100回行います。
- 第4条 就業時間内は禁煙します。
- 第5条 イベントやサークル活動を通じて、「心とカラダの健康」を大切に、社員の活力と生産性の向上を追求します。



8 WE Project 女性の活躍推進福岡県会議登録(2016年～) 8 ふくおか女性活躍NEXT企業に認定(2018年～)

日本では急激な少子高齢化時代に突入し、人材の確保が重要になっています。日本そして九州の女性の社会進出は他の国と比べて大幅に遅れており、いきいきと働き続けられる社会環境の整備も十分ではありません。そのため遅れている女性人材の育成と活用がこれまで以上に求められてきています。そこで当社は、女性の活躍を推進することによって、企業の総合力の向上および地域経済の活性化を図るとともに、男女ともに働きやすく、生きやすい社会づくりに取り組んでいます。

